

1. 基本情報

- (1) 国名：エチオピア連邦民主共和国（以下「エチオピア」という。）
- (2) プロジェクトサイト／対象地域名：アジスアベバ市（約 360 万人、540km²）
- (3) 案件名：アジスアベバ市道路維持管理機材整備計画（The Project for Upgrading Road Maintenance Equipment in Addis Ababa City）
- (4) 事業の要約：本計画は、アジスアベバ市においてアジスアベバ市道路公社の道路補修機材を整備することにより、道路状況改善に向けた維持管理能力の向上を図り、もって同国のインフラ開発に寄与するもの。

2. 事業の背景と必要性

- (1) 本計画を実施する外交的意義

エチオピア連邦民主共和国（以下「エチオピア」という。）は、「アフリカの角」地域の中心に位置し、AU 本部が置かれるなど、アフリカにおける外交の中心地であるため、我が国がアフリカ諸国と協力を図る上で、戦略的に重要な国であり、国際場裏においても、我が国と緊密な協力関係を築いている友好国である。また、同国は現在我が国とともに国連安全保障理事会の非常任理事国を務めている。

本計画は、我が国が TICADVI で表明した「質の高いインフラ投資 100 億ドル」というコミットメント達成に貢献するものである。また、本計画は AU 本部が所在する首都アジスアベバで実施される事業であり、エチオピア 1 国のみならずアフリカ各国の首脳レベルに対しても、我が国の「質の高いインフラ」をアピールしうる極めてビジビリティの高いものである。

ウ さらに、2016 年 7 月、アジスアベバに JETRO 事務所が開設され、今後日本企業の進出・貿易の促進が期待されている。

- (2) 当該国における道路セクターの開発の現状・課題及び本計画の位置付け

エチオピアでは、貨物・旅客交通の 95%以上を道路交通に依存しており、道路が国の根幹をなすインフラとなっている。1997 年に開始した道路セクター開発プログラムにより 15 年で道路延長が 137%増加する等顕著な改善も見られるものの、交通需要は依然増大していることから、同国は国家開発計画「成長と移行計画」（Growth and Transformation Plan II : 2015/16-2019/20 年度。以下「GTPII」という。）にて急速な都市化に対応する質の高いインフラの重要性とインフラの持続性確保に向けた組織強化の重要性に言及し、これに取り組んでいる。

比較的安定的な経済成長が続く好調な同国経済を牽引している同国最大の都市であるアジスアベバ市では、都市化が急速に進み、多くの新規道路整備が進められている。市内の道路は応急的な補修が実施されているものの機材不足と技術レベルの低さにより、一部道路ではわだち掘れが発生しており、将来にわたり良好な道路状況を保つことが困難と予想されている。これらの課題に対し、同国は GTPII に基づき定期的な点検・データ管理、維持管理計画の策定等の能力強化を進めているものの、道路補修のための機材の老朽化や圧倒的な数量不足により維持管理は進んでい

ない。本計画は、道路補修の機材整備を行うことで GTPII の具現化を図る事業として位置付けられる。

(3) 道路セクターに対する我が国の協力方針等と本計画の位置付け

対エチオピア国別援助方針（2012 年 4 月）において「インフラ開発」が重点分野として位置づけられている。その中で、特に我が国の高い技術力を活かし、道路の維持管理などの協力を実施し、エチオピア側の能力向上に貢献することが掲げられており、本計画はこの方針に合致する。

(4) 他の援助機関の対応

世界銀行、アフリカ開発銀行、EU、中国、韓国、アラブ系基金等が道路セクターへの支援を行っている。アジスアベバ市では世界銀行が市内の道路安全の向上を目的とした「Transport Systems Improvement Project」（2016-2023）を実施中。

(5) 本計画を実施する開発政策上の意義

本計画は、エチオピア政府の政策並びに我が国の援助方針に合致する。また、道路維持管理に必要な建設機材の整備を通じたアジスアベバ市の道路状況の改善は、SDGs ゴール 9 に貢献する。

3. 事業概要

(1) 事業概要

① 事業の目的

本計画は、アジスアベバ市においてアジスアベバ市道路公社の道路補修機材を整備することにより、道路状況改善に向けた維持管理能力の向上を図り、もって同国のインフラ開発に寄与するもの。

② 事業内容

(ア) 施設、機材等の内容

【機材】路面切削機、シングルドラムローラー、プレートコンパクター、ロードスタビライザー、クラッシャー等道路建設機械（協力準備調査にて精査）。

(イ) コンサルティング・サービス/ソフトコンポーネントの内容

協力準備調査にて詳細確認する。

(ウ) 調達・施工方法

協力準備調査にて詳細確認する。

③ 他の JICA 事業との関係

技術協力「アジスアベバ市道路維持管理能力向上プロジェクト」（2015-2018 年）で市内道路維持管理のための実施体制の構築、人材育成、維持管理計画策定能力の向上について本計画の実施機関を支援しており、本計画で整備する機材により質の高い効率的な施工を行うことが期待できる。また高速道路維持管理アドバイザー、無償資金協力「幹線道路軸重計整備計画」にて軸重計 14 か所の整備等全国の幹線道路を対象に道路維持管理の支援を実施中。

(2) 事業実施体制

① 事業実施機関／実施体制：アジスアベバ市道路交通総局道路公社（Addis Ababa City Road Authority（AACRA）, Addis Ababa City Road and Transport Bureau（AARTB））

- ② 他機関との連携・役割分担：協力準備調査にて詳細確認する。
- ③ 運営／維持管理体制：本計画実施機関が実施。協力準備調査にて詳細確認する。

(3) 環境社会配慮

① カテゴリ分類 ☐A ☐B ☒C ☐FI

② カテゴリ分類の根拠：

本計画は、「国際協力機構環境社会配慮ガイドライン」（2010 年 4 月公布）上、環境への望ましくない影響は最小限であると判断されるため。

(4) 横断的事項

特になし

(5) ジェンダー分類：ジェンダー主流化ニーズ調査・分析案件

(6) その他特記事項：現在、エチオピア全土に非常事態宣言が発令されていることから、アジスアベバ市（現在外務省渡航レベル 1）の治安状況にも注意を払う。

4. 過去の類似案件の教訓と本計画への適用

同国向け道路機材案件の評価等では、対象国にとって新しい重機や最新式のスペアパーツを必要とする重機の調達を含む事業では、そのスペアパーツの入手可能性等について準備調査において十分に精査することが必要であると指摘されている。本計画ではこの点を念頭に置きつつ、協力準備調査を行い、そのような重機やスペアパーツが必要となる場合には、入手可能性について十分検証するとともに機材の修理方法に関する研修といった技術支援（ソフトコンポーネント）の実施等も検討する。

以 上

[別添資料] 地図

アジスアベバ市道路維持管理機材整備計画 地図

